

ゲノムドック 通信

VOL.01 / 2022.3

ゲノムドックについて

「ゲノム」は、人の設計図である遺伝子情報のことです。8.5mlの血液から、生まれながらに持つゲノム情報を高性能な機器を用いて解析し、医療スタッフ、遺伝学や情報科学の専門家と様々な角度から将来の疾患や遺伝的特性を解釈し受診者ご本人に報告します。健診による早期発見や薬剤での治療などの対応が可能な遺伝性疾患の情報を報告するため、その後の健康管理や疾患治療に活用することができます。同時に受診者の同意を得てゲノム情報を将来への医療活用を目指す研究に役立てていきます。コンセンサスのある医学的、科学的根拠に基づいた結果とその対策を明示することで将来の疾患や遺伝的特性に対する対処を知ることが期待されます。



P4医療

先進的な医療の潮流は、集団への治療体制から個人の特性を重視した治療へと変化し、P4 medicineという概念が広がりを見せています。この新しい術語は、predictive, preventive, personalized and participatoryの4つのPをさし、Leroy Hood博士が提唱したものです。患者あるいは医療消費者が、様々な解析検査や医療の情報に参加し、自らの医療を向上させるという概念として理解されています。2017年に、博士らの研究グループは、『100 person wellness project』を発表しました。参加者の全ゲノムシーケンスを含む様々な臨床検査などから得られた生物学的な指標（バイオマーカー）を検討して、参加者は生活習慣やサプリメントの使用などをアドバイスされました。この研究は短い期間での追跡ではあるものの、このような介入が指標の改善が可能であったと結論づけています。このようなP4医療の取り組みは、限られた医療資源を有効に活用し、すべての人が最大の利益が得られる医療の提供を目指す要素になると考えられています。

